

「開化風景と富士の姿」展

会期：2016年 4月 2日(土)～ 6月26日(日)

会場：< GAS MUSEUM がす資料館 > ガス灯館2階「ギャラリー」

ごあいさつ

GAS MUSEUM がす資料館では、ギャラリー第78回企画展として、2016年 4月 2日(土)から6月26日(日)までの期間、「開化風景と富士の姿」展を開催します。

日本を代表する山である富士山は、姿の美しさや雄大さなどから、古来より人々にとって特別な山でした。明治維新の後、人々の生活や街の風景が変化する中、東京をはじめとした街中から望む富士の姿は変わることはなく、開化風景と対比するように錦絵に描かれました。

高層の建物が建ち並ぶ現在の街並みからは思いもつかない場所から、富士の姿が望めたことが錦絵を通して知ることができます。

展示会では、開化東京の名所であった、駿河町や銀座、万世橋などの街中や、郊外の目黒や隅田川岸からの風景の他、横浜の外国人居留地を取り上げた作品に描かれた、変わらない富士の姿を30点の作品よりご覧下さい。

GAS MUSEUM がす資料館

■展示作品一覧

【展示解説】

学芸員 高橋 豊

横浜駅

鉄道開業時の横浜の起点であった、現在の桜木町駅から横浜駅にかけての路線は、海を埋め立て、営業を開始しました。

この埋立造成を請け負ったのが高島嘉右衛門で、造成地の一部は払い下げられ、現在は高島町の一部となっています。



1) 横浜往返蒸気車全図

歌川広重(三代) 明治5年(1872)



2) 横浜海岸鉄道之図

歌川芳虎 明治4年(1871)

横浜吉田橋

作品に描かれている鉄橋は、明治2年(1869)に日本初のトラス式鉄橋として改架した吉田橋です。木橋から生まれ変わった姿は「カネの橋」と呼ばれ、横浜の開化名所として多くの錦絵に描かれました。



3) 横浜吉田橋ヨリ伊勢山太神宮遠景

歌川広重(三代) 明治3年(1870)

外国人居留地

居留地の外国人の姿や風俗は、街並みとともに格好の錦絵の画題となりました。作品では、外国商館や教会などの前を行き交う人々の姿と合わせ、その背景に富士山が描かれています。



4) 東京横浜名所一覧図会 横浜の鉄橋よし田ばし

歌川広重(三代) 明治5年(1872)

5) 東京横浜名所一覽図会 横浜裁判所
歌川広重(三代) 明治5年(1872)



6) 横浜商館天主堂図
歌川広重(三代) 明治3年(1870)



7) 横浜海岸通り之真景
歌川広重(三代) 明治5年(1872)

江の島

古くから名勝地として知られる江の島は、島の周囲は崖となっており、特に南側は波の浸食による海蝕洞(岩屋)があります。

岩屋は弁財天信仰とも結びついており、現在に至るまで、島自身が信仰の場でも観光地でもあります。

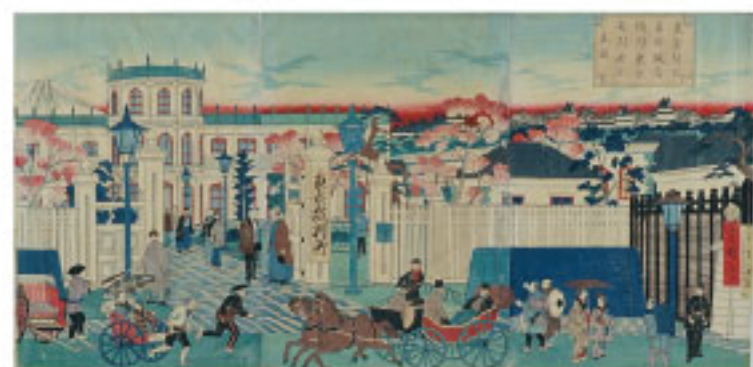
8) 日本地誌略図会 江之島岩屋
歌川広重(三代) 明治9年(1876)

大手町

明治はじめの皇居の東側には、官公庁や軍関係の施設が並び、それらは東京の新名所として多くの錦絵に取り上げられました。

作品では富士の姿が描かれていますが、現在の高層ビルが建ち並ぶ大手町界隈の様子からは、想像しにくい風景です。

9) 東京名勝会 宮城御出門二重橋ノ図
歌川国利 明治22年(1889)



10) 東京開化名所 鍛冶橋内東京裁判所之真図
歌川広重(三代) 明治9年(1876)



11) 東京名所 常磐橋内紙幣寮新建之図
歌川広重(三代) 明治10年(1877)

駿河町

江戸時代、この町の通りを南西方向に眺めると、城向こうに富士山を望め、江戸随一の眺望であったところに、町名は由来しているといわれています。

明治になり、洋風建築の三井銀行が建つと、建物と共に富士の姿が多く作品に取り上げられました。

12) 東京真景図会 する賀町三ツ井組
歌川広重(三代) 明治8年(1875)

13) 東京名所図会 駿河町三ツ井銀行
歌川広重(三代) 明治9年(1876)



14) 東京駿河町国立銀行繁栄図
歌川広重(三代) 明治6年(1873)



15) 東京名所図会 する賀町三ツ井銀行
歌川広重(三代) 明治11年(1878)

日本橋

江戸時代より日本の道の起点である日本橋は、街並みや橋越しの富士の姿とともに、多くの作品に取り上げられました。

橋の姿が洋風木橋へと変わり、開化の新名所となっても、富士山は橋とともに描かれました。

16) 東京名所 日本橋馬車鉄道図
歌川重清 明治15年(1882)



17) 東京名所内 日本橋真景
楊齋延一 年代不明



18) 東京名所 日本橋京橋之間鉄道馬車往復之図
紅英齋 明治15年(1882)

銀座

銀座煉瓦街は、明治5年(1872)の銀座大火後、街の不燃化を目指して建設されました。

明治7年(1874)には二階建て建屋が、通り沿いに完成しました。

作品では、煉瓦街のはじまる京橋より眺めた風景の中に、富士山が描かれています。

19) 東京府下名所尽 京橋從煉瓦石之図
歌川広重(三代) 明治7年(1874)



20) 東京銀座煉瓦石造繁榮之図
歌川国政(四代) 明治6年(1873)



21) 東京名所 京橋鉄道馬車往復煉瓦家ノ図
歌川広重(三代) 明治15年(1882)

江戸橋

木橋であった江戸橋が、石造りのアーチ橋に改架されたのは、明治8年(1875)のことになります。

作品では、ガス街灯が夕暮れ時の橋を照らし、その向こうに富士山を見ることができます。



22) 江戸橋夕暮富士
小林清親 明治12年(1879)



23) 海運橋為換坐之図
昇齋一景 明治5年(1872)

24) 荒布橋從江戸橋之真図
歌川広重(三代) 明治10年(1877)

万世橋

日本橋から上野へ向かう道の、神田川を渡る場所へ設けられた石橋が万世橋です。

明治6年(1873)に改架された二連アーチの石橋は、眼鏡橋とも呼ばれ、東京の新名所として多くの錦絵に描かれました。

25) 筋違新眼鏡橋式覽
歌川芳虎 年代不明



26) 東京開華名所図絵之内
筋違萬世橋より駿河台を望む
歌川広重(三代) 年代不明

上野

幕末の戊辰戦争で被害を受けた上野の山は、明治になり公園として指定されると、再びにぎわいを取り戻しました。

作品は、明治15年(1882)に新橋から日本橋、上野、浅草を結んだ鉄道馬車と、走る向こうに富士山を描いています。



27) 東京名所 鉄道馬車往復上野公園山下之図
歌川広重(三代) 明治15年(1882)

向島

向島付近の隅田川東岸は、江戸時代より現在に至るまで桜の名所です。

作品では、花見を楽しむ人々の向こうに、対岸の浅草寺の五重塔や富士山を見ることができます。



28) 向島桜
小林清親 明治13年(1880)

永代橋

かつては、隅田川にかかる最も河口に近い橋で、海まで続く橋の下流側は、広く開けていました。

作品に見える洋風木橋の永代橋は、現在の場所より

100mほど上流に、明治8年(1875)に改架された橋です。

29) 新規造掛永代橋往来繁華佃海沖遠望之図
歌川国政(四代) 明治8年(1875)

目黒新富士

現在の中目黒2丁目にあった目黒新富士は、文政2年(1819)につくられた富士塚で、江戸時代の富士山を対象とした民間信仰に由来しています。

残念ながらこの富士塚は、昭和34年(1959)に取り壊されてしまいました。



30) 東京花名所 目黒新不二 山茶花
歌川広重(三代) 明治12年(1879)

おもな参考文献

- 図録「横浜ステーション物語」
横浜都市発展記念館 2008年
- 図録「川の町・横浜」 横浜開港資料館 2007年
- 都史紀要 三 銀座煉瓦街の建設 東京都 1955年
- 都史紀要三十三 東京馬車鉄道 東京都 1989年
- 日本橋駿河町由来記 駿河町不動産(株) 1967年
- 東京の橋 石川悌二(株)新人物往来社 1977年

GAS MUSEUM がす資料館 企画展ご案内郵送申込について

ご来館ありがとうございます。これから3ヶ月ごとに開催されます、「GAS MUSEUMがす資料館 企画展」のご案内はがきの郵送をご希望の方は、官製ハガキに ①氏名 ②連絡先住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤感想・意見 ⑥今後希望する企画展、をご記入の上、下記の住所までお申し込みください。

次回より約1年間、毎企画展ごとにご案内ハガキを無料で郵送します。

(ハガキ持参で来館された方は、そのまま継続して登録されます)

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25 GAS MUSEUMがす資料館「ご案内ハガキ」係

TEL(042)342-1715 FAX(042)342-8057

《当館のお客様情報(個人情報)は、当館イベント運営に必要な業務を含め、当館に関連する企画、及びサービスのご案内のために使用いたします。》